

市ではまちづくりの理念の一つに「協働のまちづくり」を掲げています。現在、いろんな場面でさまざまな団体が関わり、協働してまちづくりに取り組んでいますので、今回はその一例を紹介します。

「まほろばの森ビオトープ 保全・再生活動」

この活動は、史跡指定地（市民の森など）にある水田跡地をビオトープとして整備・活用する取り組みです。

本市内で生き物を通じた環境教育を推進するNPOのまほろば自然学校を中心として、大学や企業などがその強みを生かしながら協働で活動を行っています。

ニホンアカガエルなどの多様な生物の生息に適した環境保全活動や、生物観察会などを実施し、地域住民が史跡に親しみながら生物多様性に触れられる場を創出しています。

※ビオトープ：生物の生息空間



外来種アメリカザリガニの駆除活動の様子

3月11日(日) 国分小校区 「ペタンク大会」

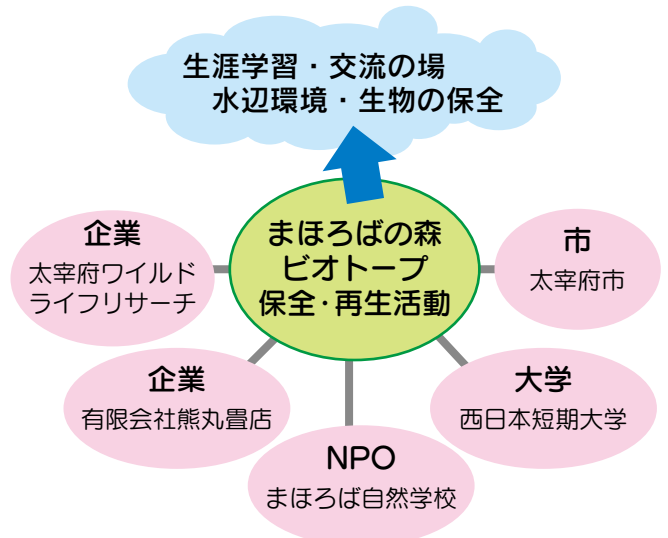
国分小校区の「ペタンク大会」は、市内でも最大規模の大会で、84チーム、ボランティアも合わせて約300人の参加がありました。ペタンクは、ルールが簡単で誰もが気軽に競技できるため、小さな子どもからお年寄りまで楽しむことができ、会場は大いに盛り上がりました。実行委員会、スポーツ推進委員、多くのボランティアスタッフが協力して開催された「ペタンク大会」は、普段はなかなか接する機会が少ない地域の皆さんの世代間交流を深めるとともに、健康づくりにもつながりました。



※4月の校区自治協議会イベント情報はありません。

さあ 協働を 進めよう vol.106

問い合わせ 地域コミュニティ課(☎内線543)



さまざまな団体がそれぞれできることを行ってこの事業に関わっています。

3月4日(日) 太宰府南小校区 「防災訓練・ダーツ大会」

太宰府南小校区自治協議会では、災害時の炊き出し訓練とダーツ大会を行いました。この事業は校区で災害時に大人数の炊き出し食を準備する訓練とダーツ大会を併せて行っており、今年で6回目になります。

ダーツ大会は30チームの参加があり、5パートに分かれて順位を競いました。また、炊き出しは200人分のおにぎりや豚汁が作られ、参加者に配布されました。太宰府消防署員による救命講習体験も行われ、競技の空き時間に多くの人が指導を受けました。

